

これぞコラボの魅力！。特別企画第1部は映像と邦楽が調和、相乗効果を発揮し、来場者は五感で芸術の可能性を受け止めた。



コラボ芸術に磨き

特別企画「結いⅡ」 盛況、立ち見が幾重にも

特別企画「結いⅡ」は、3部構成で第1部が写真部と邦楽部（尺八、箏）による「東日本大震災への鎮魂」、第2部は「茶の世界」で茶道、絵画、工芸、彫刻の各部が共演、第3部は「西洋音楽」で洋楽部員の特別編成による芸協弦楽合奏団が名曲を奏で、それぞれ過去・

第55回宮城県芸術祭の特別企画「結いⅡ」が過去・現代・未来を結ぶ。9月30日、せんだいメディアテークで開かれた。あいくの天候にもかかわらず立ち見がでる盛況ぶり、各々が総力を挙げ準備、コラボレーションしたライブパフォーマンスが入場者を芸術の秋にいざなった。芸術の魅力と可能性を広くアピールすることで、芸術祭の盛り上げにつながるのが狙い。幅広い分野で構成される当協会の特長を生かし昨年、初めて統一テーマ「結い」を掲げ開幕時に取り組んだコラボ型イベントを発展させる形で企画した。3部構成で第1部が写真部と邦楽部（尺八、箏）による「東日本大震災への鎮魂」、第2部は「茶の世界」で茶道、絵画、工芸、彫刻の各部が共演、第3部は「西洋音楽」で洋楽部員の特別編成による芸協弦楽合奏団が名曲を奏で、それぞれ過去・

公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 零石隆子

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

現代・未来を描いて見せた。第1部は被災の過去、復興途上の現代、そして立石寺の不滅の法灯に託した確かな未来を映像で表現。伝統の和の響きと絶妙なコラボを披露した。第2部も斬新。会場に茶室をしつらえ、工芸、絵画、彫刻などの制作風景やイメージ映像を背景に、工

第55回宮城県芸術祭が9月21日、せんだいメディアテークで開幕した。芸術の秋を彩る宮城の風物詩的な一大イベント。多くの県民が訪れ、精魂傾け仕上げた展示作品や舞台公演との出合いを楽しんだ。

華やかに開幕 第55回芸術祭

開会式には、芸術祭会長兼実行委員長の零石隆子理事長、名誉会長の一力雅彦河北新報社社長のほか、宮城県、仙台市の代表ら関係者が出席。零石理事長と一力社長がそれぞれ「平成最後の芸術祭。楽しんでほしい」「心の復興に芸術文化の果たす役割は大きい。多くの人に参加してほしい」などとあいさつし、共催7団体の代表による芸部制作の茶器を使って茶の世界の悠久の流れを巧みに演出。場面転換の幕間を、洋楽部員の演奏でつなく工夫も凝らした。芸術が融合することによる「化学反応」的な面白さもあり、多くの参加者が秋のひとつとき、バリエーション豊かな「実験的な芸術劇場」を堪能した。

テープカットで開場した。皮切りは工芸展、写真展・公募展、彫刻展、絵画展（公募の部）。待ちわびた市民らが詰りめかけ、作品を堪能した。月をまたいで絵画展、その後、華道展、書道展が続き、いずれもにぎわった。10月は舞台公演月間。日立システムズホール仙台で実施されたガラコンサート、長唄演奏会のほか、東京エレクトロンホール宮城での文芸祭や、秋の風情漂う輪王寺で催された茶会も盛況。参加者は芳醇な芸術世界にまどろんだ。芸術祭参加行事の洋舞公演、仙台三曲協会定期演奏会も活気にあふれた。11月の音楽会、同日の表彰式をささみ、年明けの2～3月、音楽コンクールで長丁場の本年度芸術祭を閉じる。

第55回宮城県芸術祭の開催を心からお慶び申し上げます。芸術作品は、私たちの心に潤いと感動を与え、県民の心の復興に大きく貢献するものと実感しております。会員の皆さまの御尽力に敬意を表するとともに、祭典の成功と皆さまの益々の御活躍を祈念申し上げます。



村井嘉浩宮城県知事



9月21日、共催7団体の代表がテープカットし、長丁場の芸術祭が開幕した

【絵画展（公募の部）（9月21～26日）】出展は104点。最高賞の宮城県芸術協会賞をはじめ、20代の若手が上位入賞。スマホで鑑賞する斬新な作品もあった。



絵画展（公募の部）



写真展

【写真展（9月21～26日）】出展は88点。バラエティーに富んだ作品が会場を埋めた。高校生らの作品をまとめたモニター上映も好評だった。

観客を魅了

第55回宮城県芸術祭



写真公募展

【写真公募展（9月21～26日）】377点の応募から入選99点を展示。前回に比べ応募が増え、審査員をうならせる感性豊かな作品が並んだ。

【絵画展（9月28日～10月3日）】出展数は317点。力作、秀作ぞろいで審査も難航した。女性の活躍が目立ち、入賞の大半を占めた。



絵画展



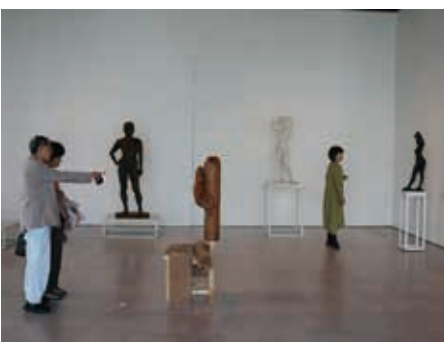
工芸展

【工芸展（9月21～26日）】出展は昨年を上回る73点。趣向を凝らした作品が目を奪った。特別企画で使用する茶器なども多数展示され好評を博した。

【書道展（10月5～10日）】出展は292点。魂のこもった作品がそろった。バリエーション豊かな「墨跡のドラマ」が入場者を感動させた。



書道展



彫刻展

【彫刻展（9月21～26日）】出展は33点。創作意欲の高まりを反映してか、昨年に比べて大幅に増えた。バランスの取れた裸婦像などが注目を集めた。

【特別企画(9月30日)】第2部。コロボの魅力が新たに加わり、香り漂う時の流れとともにつもと一味違った茶の世界を演出した。



特別企画第2部

【特別企画(9月30日)】第3部。特別編成による芸術協会弦楽合奏団がオープンスクエアの会場全体を歴史豊かな洋楽の響きで包み込んだ。



特別企画第3部

【特別企画(9月30日)】開場後、瞬く間に席が埋まり、後方の立ち見も含めて参加者は真剣な面持ちで珠玉のコロボを鑑賞していた。



参加者であふれた特別企画

【洋舞公演(10月8日)】モダン、クラシックの計6団体のほか、2団体が応援出演。華やかに舞い、精進を重ねた成果を披露した。



参加行事・洋舞公演

【仙台三曲協会定期演奏会(10月14日)】演奏は「六段の調」など17曲。会員も多数出演、箏、三弦、十七弦、尺八の和の響きが会場を満たした。



参加行事・仙台三曲協会定期演奏会

欠かせない分野であり、これからも地域における文化芸術振興に一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



郡和子仙台市長

今年も関係者の皆さまと共に、宮城県芸術祭を盛大に開催できますことに心より感謝を申し上げます。文化芸術は、魅力と活力のある街づくりに

【華道展(10月5〜10日)】出展は従来通りの29点。ほかにチャレンジ席に前期6点、後期5点。展示会場に匂い立つような彩りを添えた。



華道展

珠玉の芸術

多彩に重厚に

【ガラコンサート(10月7日)】昨年度のコンクールで入賞等の「未来の演奏家」21人(ピアノ7人、ヴァイオリン14人)が出演、観客を魅了した。



ガラコンサート

【茶会(10月14、21、28日)】秋の風情に包まれた古刹を舞台に13流派が共演。季節よし、会場よし。けん騒を離れ、心を満たすひとときを過ごした。



茶会

充実の行程、大好評！
福島・浜通り地方を文学散歩

芸術祭「文学散歩」が10月3、4日の日程で実施され、満足度の高い旅となった。

バスツアーは盛況で参加者は近年まれな39人。雫石隆子理事長も同行した。テーマは「浜通りの現在と文学を巡る」。福島・浜通りから北茨城、福島・中通りを経る行程を設定した。

3日、仙台駅東口を出発。原発事故の被災地を車窓からながめ、日常の再生遠い浜通りの現状を深く心にとどめつつ、埴谷



今井氏



高橋氏

長年、地域の文化振興に貢献した個人、団体を文部科学大臣が顕彰する文化庁の平成30年度地域文化功労者表彰の祝表彰者に当協会の今井邦男氏(洋楽部)と高橋威夫(威仙)氏(参事・茶道部)が選ばれた。

地域文化功労者表彰に今井氏、高橋氏
文部科学大臣から表彰
「今後も貢献」喜び語る

今井氏は中国・大連市生まれ。

東北大学を卒業後、米国に留学。指揮法などを学び、現在、宮城県合唱連盟理事長、一般社団法人全日本合唱連盟常務理事。県芸術選奨、県教育文化功労者表彰等を受賞している。今回、指揮者活動など音楽文化への貢献が認められた。

今井氏は「表彰を心より感謝申し上げます。父を見て音楽の



高村智恵子の生家も訪問した(二本松市)

島尾記念文学資料館―いわき市
勿来文学歴史館―天心記念五浦美術館―五浦六角堂、4日は野口雨情記念湯本温泉童謡館―草野心平記念文学館―智恵子記念館を訪ねた。国宝白水阿弥陀堂も見学した。

会津地方を除く福島県の文学

をほぼ網羅し、途中、北関東にまで足を延ばすぜいたくなコース。文学はもとより歴史遺産に触れ、自然景観も堪能する見どころ満載の旅となった。

下見を経た丁寧なコースの設定もさることながら、各施設の語り部や芸員の解説も講談調あり、場の雰囲気合わせた名調子ありで魅力的だった。

また、湯本温泉での交流の宴は、一般市民や文学以外の分野の参加者を含めて終始和やか。芸協ならではの充実の企画に、「来年もぜひ」との声が相次ぎ、実りの多い文学散歩となった。

道に入り、合唱に目覚め60余年。これからもこの道を歩んでまいります」と喜びを語った。

高橋氏は仙台市生まれ。東北大学医学部薬学科卒。同大学院薬学研究所で博士課程を修め、同大学院助教教授を歴任。社団法人当時の県芸術協会副理事長、大日本茶道学会仙台支部長を務めた。県教育文化功労者表彰。今回、茶道文化への貢献が評価された。

高橋氏は「身に余る光栄に感激しています。今後も茶道の発展に貢献できますよう努めてま

表紙のデザイン一新
2018年版宮城県文芸年鑑発行



今回、長年慣れ親しんだ表紙をペン先をイメージした内容に一新。定価も引き下げた。多くの人の目に触れることで、外部評価の高まりが期待される。

書籍や雑誌が時代に合わせ、表情を変えている現状を参考に、「顔」を見直すことにした。デザインは、これまで同様、次年度は色を変更する形で継続

していく。同時に文芸作品公募入選作品集の表紙も変えた。定価は3千円を千円に改定した。3千円は年鑑発行に向けた文芸部会員の負担金(出稿料)で、頒布価格でもあったが、会員の購入や書店販売での伸び悩みの一因となっていた現実を直視。販売促進を狙いに大幅な価格改定に踏み切った。

年鑑の会員負担金3千円はそのままとし、これまで通り会員には2冊ずつ送付する。価格引き下げを受けて、会員の皆さんは積極的に購入し、大いに活用していただきたい。

芸術祭を熱烈アピール
佐藤執行理事がラジオ出演

当協会の佐藤皖山執行理事(事業担当)が9月、エフエム仙台の番組に相次ぎ出演。第55回宮城県芸術祭の広報に努めた。

番組は24日放送の「Hope for MIYAGI」(10日収録)と、28日放送の「Morning Brush」。前者はパーソナリティーの石垣のりこさんがインタビューす

受賞の喜びを表した。

る形で進行。佐藤執行理事は邦楽(尺八)との出会い、東日本大震災の復興支援活動を振り返りつつ、21日開幕の芸術祭、とりわけ特別企画「結いⅡ」過去の現代・未来を結ぶ」の素晴らしさを熱く紹介した。

後者は生出演だったが、大きな舞台をたびたび経験しているだけに、緊張のそぶりもなし。ライブ演奏による和の響きは出色で、佐藤執行理事の熱演はリスナーの心を揺さぶり、少なからず芸術祭への参加機運を高めたに違いない。

第 55 回宮城県芸術祭受賞者 (会員の部)

賞名	部門	作品名	氏名
宮城県芸術祭賞	工芸部	笑む(金工)	菅原恵美子(仙台市)
	写真部	晨星の刻	佐々木俊江(白石市)
	彫刻部	明日をみすえて	小泉百合子(多賀城市)
	絵画部(日本画)	約束の日	土屋薫(仙台市)
	絵画部(洋画)	I am here 2018-Ⅲ	鈴木千津(石巻市)
	書道部	われながら(かな)	佐々木香苑(石巻市)
宮城県知事賞	文芸部	大綿(俳句)	中村春(仙台市)
	工芸部	Geological Glass(地質学的アプローチのガラス)(ガラス)	村山耕二(仙台市)
	写真部	残照	平間操(柴田町)
	彫刻部	構築	佐々木莉央(仙台市)
	絵画部(日本画)	或る日の庭	中邨圭子(仙台市)
	絵画部(洋画)	風の道標	佐野福代(仙台市)
	書道部	草野心平の詩(近代詩文)	高野博行(仙台市)
	文芸部	夢を解く(詩)	梢るり子(仙台市)
	文芸部	あをのひかり(短歌)	丹治久恵(利府町)
	文芸部	福音(俳句)	小川真理子(仙台市)
仙台市長賞	文芸部	木守り柿(川柳)	中條節子(仙台市)
	絵画部(日本画)	野に立つ	柴田慶夫(仙台市)
	絵画部(洋画)	街-2018	山口優子(名取市)
河北新報社賞	書道部	謝翱詩 冬青樹別玉潛(漢字)	石井秀苑(仙台市)
	工芸部	T S U B O I(陶芸)	千田玲子(仙台市)
	写真部	母なる川	竹内加代子(仙台市)
	彫刻部	R e b o r n(再生)	赤井靖武(塩釜市)
	絵画部(日本画)	一世代前の夕陽	遠井千秋(仙台市)
	絵画部(洋画)	青い布のある静物	佐々木まさ子(仙台市)
宮城県教育委員会教育長賞	書道部	飛翔(墨象)	一條紅蕭(涌谷町)
	文芸部	灼熱列島(川柳)	渡辺進(仙台市)
	工芸部	蒼木囿(陶芸)	大沼明子(仙台市)
宮城県教育委員会教育長特別賞	絵画部(洋画)	秋の詩	越河美佐江(岩沼市)
	書道部	耳視目聴(篆刻)	藤野秀一(多賀城市)
	工芸部	わすれまじ(染織)	田中美香子(仙台市)
	絵画部(日本画)	波	及川尚子(仙台市)
仙台市教育委員会教育長賞	絵画部(洋画)	実り	伊藤芳子(仙台市)
	書道部	沙羅(少字)	島津和子(岩沼市)
	書道部	谷川俊太郎の詩より(近代詩文)	天野白扇(石巻市)
宮城県議会議長賞	絵画部(洋画)	風がみたもの	石垣裕子(岩沼市)
	書道部	沈佺期詩(漢字)	末永瑞鳳(東松島市)
仙台市議会議長賞	書道部	波濤(墨象)	藤原紅雲(色麻町)
	絵画部(洋画)	時のむこうに	畑中良二(石巻市)
公益財団法人宮城県文化振興財団賞	書道部	洪希文詩(漢字)	熊谷鳳苑(石巻市)
	工芸部	有線七宝香炉「静寂の譜」(七宝)	松本幸恵(仙台市)
	写真部	「星に祈りを」	紺野勝司(気仙沼市)
	絵画部(洋画)	堆積する風景	町田美野(名取市)
	書道部	蘇東坡詩(漢字)	渡辺無象(仙台市)
	書道部	彭孫適詩(漢字)	小元佳香(大崎市)
公益財団法人カメイ社会教育振興財団賞	書道部	鏡(近代詩文)	小嶋カズ子(仙台市)
	文芸部	影ふたつ(短歌)	穴澤孝一(仙台市)
	絵画部(日本画)	端倪	數本冨英佳(仙台市)
	絵画部(洋画)	初夏の伊豆沼	千葉郁男(栗原市)
菅野美術館賞	彫刻部	I say good-bye	中村たみ子(石巻市)
	絵画部(洋画)	「偶」今に伝えたいにしへのころ	安達秀子(仙台市)
宮城県芸術祭奨励賞	書道部	佐羽淡齋詩(漢字)	佐々木鳳堂(大崎市)
	写真部	ろばた	庄司多賀雄(岩沼市)
	写真部	s e a j e w e l r y	佐藤節子(仙台市)
	絵画部(洋画)	縄文の世界	兵藤洋子(栗原市)
	絵画部(洋画)	朽ちる	鹿野幸多(栗原市)
	絵画部(洋画)	B A L A N C E - B	高橋順子(仙台市)
	書道部	劉基詩二首(漢字)	高船山常松(仙台市)
	書道部	綦母潛詩(漢字)	庄司清香(仙台市)
	書道部	前原正治の詩から(近代詩文)	大友きか子(名取市)
	書道部	辛夷(近代詩文)	早坂孝恵(仙台市)
	書道部	療(少字)	横山恭子(仙台市)
	書道部	偲(墨象)	伊澤香雨(石巻市)
	文芸部	今在りて(短歌)	伊藤静子(仙台市)
	宮地房江賞	工芸部	春の訪れ(染織)

第 55 回宮城県芸術祭 絵画展 (公募の部) 写真公募展 受賞者

部 門	賞 名	作 品 名	氏 名
絵 画 展 (公 募 の 部)	宮城県芸術協会賞	自 我 と 自 己 の 狭 間	板 橋 かおり (仙台市)
	優 秀 賞	不 変 と 変 遷 の 始 点	今 野 裕 結 (岩沼市)
	優 秀 賞	杵 は ら へ と、 帰 る	目 時 由 宮 子 (仙台市)
	奨 励 賞	ア ー ト ミ ュ ー ジ ア ム	田 中 ミ サ 子 (川崎町)
	奨 励 賞	L e P a r a d i s II	阿 部 広 (登米市)
	奨 励 賞	神 木	西 脇 正 彦 (石巻市)
	奨 励 賞	BECK ON・FUTURE II	及 川 寿 美 子 (登米市)
	奨 励 賞	パ リ の あ る 日	沼 田 明 里 (仙台市)
	奨 励 賞	こ こ で 咲 く	小 野 昭 子 (石巻市)
写 真 公 募 展	宮城県芸術協会賞	秋 深 し	斎 藤 友 子 (仙台市)
	宮城県知事賞	偶 然 に 満 月	亀 修 一 (仙台市)
	仙 台 市 長 賞	夜 明 け の 渡 し	高 野 弘 一 (大和町)
	河 北 新 報 社 賞	浮 上 タ ー ジ マ ハ ー ル (イ ン ド)	古 川 孝 子 (塩釜市)
	宮城県教育委員会教育長賞	ハ イ ! ポ ー ズ	庄 子 源 六 (仙台市)
	仙台市教育委員会教育長賞	宵 花	相 沢 開 (石巻市)
	宮城県議会議長賞	小 雨 の レ ー ス	石 崎 純 (仙台市)
	仙台市議会議長賞	村 の 神 楽	横 田 弘 (塩釜市)
	(公財)宮城県文化振興財団賞	八 甲 田 山 春 の 訪 れ	吉 田 啓 子 (仙台市)
	大 崎 市 長 賞	木 小 屋	矢 内 勝 史 (白石市)
	優 秀 賞	唄 う オ オ ヨ シ キ リ	佐 藤 宣 男 (仙台市)
	優 秀 賞	虹 色 の パ レ ッ ト	佐 藤 賢 (仙台市)
	優 秀 賞	霧 の 中 の 池 塘	一 條 待 子 (仙台市)
	優 秀 賞	望 郷	佐 藤 玲 子 (多賀城市)
	ニコイメーjingジャパン賞	天 と 地 の 共 演	中 山 隆 夫 (大崎市)
	堀 内 カ ラ ー 賞	H A I R	佐 藤 一 之 (塩釜市)
tcd 東北カラーデュープ賞	灯 り	細 越 千 恵 子 (大崎市)	

第 5 回文芸作品公募入選者

一般の部			ジュニアの部		
ジャンル	賞 名	氏 名	ジャンル	賞 名	氏 名
詩	最優秀賞	鈴木修 (大崎市)	詩	優秀賞	堀内夕太郎 (南吉成小)
	佳作	越田健介 (仙台市)		佳作	渡邊香穂 (長町中)
短歌	最優秀賞	越田健介 (仙台市)	短歌	最優秀賞	高橋優成 (高森中)
	優秀賞・宮城県歌人協会賞	山本秀子 (巨理町)		優秀賞・宮城県歌人協会賞	三原侑也 (長町中)
	優秀賞	平間孝雄 (仙台市)・朝長スミエ (角田市)		優秀賞	やなだくるみ (東長町小)・黒田あやか (上野山小)
	佳作	秋場祐美子・海老原俊男・中村七海・江口昭太郎・佐藤恵子 (仙台市)		佳作	齋藤美咲・佐藤咲里・遠藤妃菜・川和優菜・佐藤綺羅・佐藤愛琉・大崎優真・佐藤楓月 (名取二中)・齋藤あかり・村上和信・安藤匡吾・菅原彩絢・齊藤奏・川合優乃 (長町中)・宮崎はるか・清和咲綾・鈴木奈波 (東長町小)・きしこうた・たかはしひろと (太白小)・さかたしんたろう・伊藤丈・佐藤真紘・大庭弦 (上野山小)・さがえなつこ・中ばちうた (連坊小路小)・坂井結香 (高森中)
俳句	最優秀賞	松本佳子 (仙台市)	俳句	最優秀賞	日下怜那 (岩沼西中)
	優秀賞・宮城県俳句協会賞	川原友記子 (仙台市)		優秀賞・宮城県俳句協会賞	富樫大宙 (高森中)
	優秀賞	鈴木わかば (山元町)・坂下遊馬 (巨理町)		優秀賞	相澤直也・栗野悠真 (長町中)
	佳作	内海哲郎・羽田絹枝・前田礼子・高橋麗子・小幡つや子・松田俊洋・升川枝里・渡邊こと代 (仙台市)・鈴木蝶次・三浦芳子 (大河原町)		佳作	稲村玲子 (仙台白百合学園小)・工藤万鈴・鎌田あいら・小室佑太 (岩沼西中)・志賀野佑真・白石真央・渡邊袖 (高森中)・木村水音・佐藤彩・金原和土 (長町中)
川柳	最優秀賞	三浦幸司 (利府町)	川柳	最優秀賞	藤本ゆう佳 (古川第四小)
	優秀賞・宮城県川柳連盟賞	太田良喜 (大河原町)		優秀賞・宮城県川柳連盟賞	梅原明日香 (田子中)
	優秀賞	阿部みつ・齋藤てい子 (仙台市)		優秀賞	杉野紗南 (角田小)・伊藤翼 (長町小)
	佳作	真田義子・渋谷ますえ・浅野夏希・奥村まさ子・安部花御里・熊谷國安・志賀ひろこ・笠松芳之 (仙台市)・前田美千代 (名取市)・三島ひろ子 (白石市)		佳作	伊藤由夏 (古川第四小)・平見春陽 (八木山中)・仁多見煌原 (北仙台小)・八島光生 (船岡中) 梅原拓磨 (田子中)
エッセー	最優秀賞	田中きわ子 (仙台市)			
	佳作	間英雄・秋場祐美子 (仙台市)			

創作・演奏活動に栄誉

宮城県芸術選奨に 菊地、種澤、田原の3氏



菊地義彦氏
美術（洋画） 栗原市

絵画部運営委員を務め、創作活動は衰えを知らない。河北美術展参与として他団体の公募展を支え、東北独立展の開催運営を担当。絵画教室講師として後進の指導にも尽力し、米作りが題材の連作を栗原市に寄贈するなど地域貢献も特筆される。



種澤有希子氏
美術（工芸） 仙台市

日本伝統工芸展に8回入選。河北工芸展等の展覧会でも入賞、入選を重ねている。比較的新しい技法で難易度も高い省胎七宝に精力的に取り組み、独自の作風を確立。継承事業の講師を務めるなど工芸の普及活動にも努めている。工芸部運営委員。



田原さえ氏
音楽 仙台市

東京と仙台でリサイタルを13回開催したほか、国外の楽団と共演し国際的に活躍している。昨年は「ピアノで語る」というユニークなテーマに挑戦。トークと名演奏で新境地を開いた。仙台パッハゼミナールを主宰。後進の育成にも力を注いでいる。

平成29年度の宮城県芸術選奨受賞者が決まり、10月29日に県庁舎内で授賞式が行われた。受賞者は芸術選奨5人、同新人賞5人。当協会の会員、美術（洋画）の菊地義彦氏、美術（工芸）の種澤有希子氏、音楽の田原さえ氏が芸術選奨に選ばれた。県の芸術文化の発展に尽くされた3氏の業績と喜びの声を紹介する。

「栗原に絵のモチーフは、いくらかでもあるだろう」。挾間二郎先生のこの言葉が耳から離れず、制作のモチーフは芸能文化「鹿踊り」と手作業による米作り「農耕文化」の二つが

この度は栄えある賞を賜りありがとうございました。長きにわたるご指導いただき、た高橋通子先生に心より感謝申し上げます。二十数年前、七宝の美しさと自分で作る楽しさを知り

例えば不思議なもので、ピアノという楽器と結局ずっと向き合ってきた。力づくだった。けんか腰だった。我ながらあきれほどの回り道をして、ふと気づくと私自身の姿を映す水面

震災復興に 大きく貢献

千葉蒼玄書道部長が 復興大臣表彰



当協会の千葉蒼玄書道部長が東日本大震災の被災地復興に向けた取り組みを評価され、復興大臣表彰を受けた。

授賞式は8月18日、東松島市コミュニケーションセンターで行われた。震災復興に対する書活動、複数回にわたるチャリティーによる寄付などを通じて、被災地の復興に大きく貢献したことが表彰の理由。千葉部長は吉野正芳復興大臣（当時）から直接、感謝状を受け取った。

大臣からねぎらいと感謝の言葉を掛けられた千葉部長は「受賞者は団体ばかりで、個人として受けていいものか正直、戸惑いもありましたが、家族や周りの人たちがとても喜んでくれて。古里でもある被災地・石巻の復興に、いささかでもつながってくれば、こんなうれしいことはないと思います」と控えめに喜びを語った。

新入会員

【工芸部】田中美香子 仙台市青葉区【洋楽部】申賀明史 仙台市太白区、島泰子(橋本泰子) 美里町、幡谷久仁子(鈴木久仁子) 山形市【邦楽部】齋藤瑞香能(江利子) 仙台市青葉区、庄子爲山(保志) 仙台市太白区、平澤憧玲(真悟) 石巻市、渡辺一弘 仙台市泉区、五十嵐麻美 仙台市青葉区【舞踊部】吉村花照(佐藤多歌子) 岩沼市

私達は芸術協会を応援します

新賛助会員

【団体】住友金属鉱山シロレックス株式会社 支店長 高野 直英 様 ENEOSグループ株式会社 東北支店長 結束 達也 様 アグリ・メデイカル株式会社 代表取締役社長 神名川 博史 様 ENEOSトレーディング株式会社 代表取締役社長 武川 昌俊 様 株式会社マイナビ宮城支社 宮城支社長 小島 健志 様 株式会社橋本店 代表取締役社長 佐々木 宏明 様 有限会社三帰興産 代表 本郷 俊路 様 (個人) 鹿野 英生 様 原 也寸志 様

「平成30年会員名簿」の訂正

〔住所の誤記載〕 6頁 絵画部(日本画) 仲野うたかた 多代会員 〔誤〕 あすと長町四丁目3-34 〔正〕 あすと長町四丁目3-54

事務局日誌

会務報告

【第3回理事会】8月3日 正会員の入会承認について 賛助会員の推薦について

後援

☆第37回新芸術東北展 9月7-12日 せんだいメデアターク ☆第48回宮城書芸院書展教育部展 10月5-7日 大崎市民ギャラリー 緒絶の館 ☆第49回洋舞公演 10月8日 日立システムズホール仙台 ☆(一社) 創元会北海道・東北巡回展 10月12-17日 せんだいメデアターク ☆陽だまりコンサート 10月13日、12月8日、平成31年2月9日 陽だまり弦楽アカデミー 9月から2回程度 山元町ひだまりホール、巨理町公民館など ☆第62回仙台三曲協会定期演奏会 10月14日 日立システムズホール仙台 ☆東北書道秀拔展 10月19-23日 せんだいメデアターク ☆レバトリリーコンサート6 (4期のピアノ小品を集めて) 10月21日 仙台市戦災復興記念館 ☆第31回みやぎ発明くふう展及び第22回みやぎ未来の科学の夢絵画展 10月23-27日

東北電力グリーンプラザ ☆第57回洗心書道展 11月1-4日 宮城県美術館 ☆明治維新150年記念「石に刻んだ赤き心」宮城・東京・鹿児島巡回公演 11月2日 電力ホール 11月4日 雄勝小・中学校 11月5日 文化シヤッターBXホール 11月7日 鹿児島県民交流センター ☆歌いつがれゆく日本の歌 11月7日 日立システムズホール仙台 ☆第27回河北工芸展 11月7-12日 T F U ギャラリーミニモリ ☆第18回日本歌曲と朗読の夕べ 11月11日 宮城野区文化センター ☆第4回・日本画・緑彩会展 11月13-18日 東北電力グリーンプラザ ☆第33回定期演奏会(公益財団法人都山流尺八楽会宮城県支部) 11月17日 日立システムズホール仙台 ☆第43回素心書道会書展 11月21-25日 宮城県美術館 ☆第43回教育書道研究会学生展 11月21-25日 宮城県美術館 ☆第11回河北小中学生書道展 11月23-25日 T F U ギャラリーミニモリ ☆佐藤象雲書作展 11月23-28日 せんだいメデアターク ☆菊地義彦寄贈作品展(栗駒山麓手作業米づくりの一年と自選作

Table with columns for award categories (e.g., 品々, 栗原文化会館), dates (11月25日, 12月2日), and names of recipients (e.g., 佐々木啓子, 三浦長悦). Includes a section for '受贈書' (Gifted Books) with names like 川柳作家ベストコレクシオン西恵美子.

けやきの譜

西日本の豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震、台風24号など災害列島は、数限りない被災者を産み出し続けている。「これまで経験したことのない」「50年に一度」など異常気象を表わす言葉がだげさと思われたが、実態は表現通りとなった。この国ではいついかなる時も災害は人ごとではない。我が身のこととして、おさおさ怠りなきよう準備をしておきたいものである。被害に遇われた方々のいち早い復興を祈るしかない。定禅寺通のけやき並木の枯れ葉が、雪のように舞う季節がやってきた。9月21日に始まった第55回宮城県芸術祭は、来年3月まで行事が続く。文化の秋を彩りそれぞれの分野で大きな成果をあげている。新しい試みに拍手を送るとともに、若い方々の活躍と参加を切に望みたい。 「平成」最後の年、歴史的にはわずか一年、二年の元号もあつたが、元号の長さは昭和、明治、平成の順とか。新しい元号の時代がいい時代であれと願うばかりである。(英)